

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

平成30年度
西会津町

児童生徒交流団

再♥会



寒波に負けない熱い友情… 平成30年度「体験の翼」西会津町訪問

今年最大の寒波に見舞われた2月8日（金）～11日（月）、「体験の翼」交流団17名（児童生徒11名、引率6名）が西会津町、に交流に訪れ、昨年7月に大宜味村で交流した西会津の友達と久々の再会を果たしました。

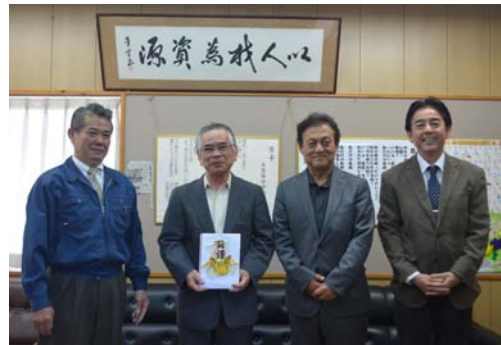
ホームステイではスキーやスノーモービルに乗ったり、温泉に入ったり沖縄では味わえない体験をしたり、たこ焼きやホットケーキを一緒に作って食べたり西会津の友だちと交流を深めました。

10日には雪国まつりにも参加し、オープニングで堂々とエイサーを披露。途中からお客さんも指笛を吹いて一緒に踊りだし、会場を一層盛り上げました。

滞在中はほとんど雪となり、凍てつく寒さも、ふわふわの雪もまっさらな雪景色もすべてを堪能できた交流団。どの子も家族の一員となり西会津の生活を満喫しました。



子ども達のために環境づくりを！期生会から教育委員会へ寄付金贈呈



2月21日（木）、大宜味村教育委員会教育長室において、大宜味小学校開校・中学校移転記念事業期成会（会長：新城寛）より村教育委員会へ、寄付金目録の贈呈が行われました。

今回の寄付は、平成29年に結成された期成会の解散に伴うものです。教育委員会としましては、この寄付金を学校環境整備費として活用を予定し、2019年夏頃に学校敷地内へ子供達が楽しく触れ合う環境づくりを目的に、遊具の設置を検討しております。

教育相談員からお知らせ

平成31年3月1日～3月31日までの期間、出勤日を変更させて頂きたいと思ひます。
出勤日時（変更後）
毎週水曜日と木曜日の週2日間、午前9時～午後12時までとなります。
ご不便をお掛けしますが、よろしくお願い致します。



第41回

塩屋湾一周トリムマラソン大会



車両通行止 協力をお願いします。9:30～12:15…国道331号線～塩屋入口～大保ダム入口までの区間
9:30～11:00…県道9号線入口～田港橋までの区間
駐車場は塩屋漁港、又は結の浜臨時駐車場へお願い致します。

お問い合わせ：塩屋湾一周トリムマラソン大会事務局（教育委員会内 TEL0980-44-3006 担当：前田）

大宜味中学校野球部劇的勝利！

2月2日（土）、3日（日）に開催された第59回沖縄県春季中学校軟式野球北部地区大会において、大宜味学校野球部が新チームとなって初となる劇的な1勝をあげました。

他の部から助っ人も加わり、11名で挑んだ1回戦の相手は強敵久辺中学校！初回に1点を取られ苦しい立ち上がりとなりましたが、先発天音君が粘り強い投球でピンチをしのぎ、3回の攻撃では一打逆転満塁の場面で好投を続ける天音君自らがタイムリーヒットを放ち、5番琉翔君の貴重な追加点となるタイムリーヒットが出るなど一気に逆転し波に乗る展開へと変りました。

終わってみれば9対2で6回コールド勝ちを納め、劇的な勝利に会場に駆けつけた多くの応援団から歓声があがりました！2回戦で惜しくも敗退となりましたが、今後に期待が持てる大会となりました。



パワー炸裂！！大宜味小ミニバスケット部女子Cチーム優勝！

2月17日（日）、第16回国頭地区ミニバスケットボール交歓会Cチーム大会が東村営体育館において開催され、大宜味小学校ミニバスケット部女子Cチームが見事優勝を収めました。

3年生以下で編成されるCチーム。最後まで接戦で、フリースローでの対決となりましたが、全員がシュートを決め、優勝を勝ち取りました。Cチームキャプテンの大城望愛さんは「東江小も今帰仁小も強かった。優勝できて嬉しかった」と喜びました。



やんばるの星空に癒されて… 公民館講座「やんばる星空浴」

2月23日（土）、石山展望台においてやんばる星み隊の星みきさんを講師に公民館講座「やんばる星空浴」が開催されました。

どんよりとした空模様で開催も危ぶまれましたが、始まる頃には雲の切れ間から星が顔を出し始め、冬の代表的な星座であるオリオン座の一等星ペテルギウス、おいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結んだ冬の三角も見ることができました。

オリオン大星雲も見えた（見える人には見える星）のですが、次第に広がっていく雲…。

星座の話や星のクイズで盛り上げたり、邪魔な雲をみんなの鼻息で吹き飛ばそうとしたり、「星見たい」と叫んでみたり曇り空でも盛り上げ、みんなを楽しませてくれた星さん。

参加者からは「また開催してほしい」、「他の季節でもやってほしい」と声があがり、次回に期待できる講座となりました。

今回の星空浴には名護市からベーグル屋ミスリさんも来てくれ、温かい飲み物とおいしいベーグルでホッとしながら、星空浴で癒されることができました。



寝転がって星を観察☆



暗くてぶれぶれですがこんな感じ



大人気のミスリさん

大宜味を千ヨウの舞う村に 自然観察クラブ

合唱「宝島」4～6年生

1年生：表現「わらべうた」

2年生：音読劇きつねのおきゃくさま

3年生：発表＆合奏

普及型1 空手クラブ

きらめき発表会

1年生：表現「わらべうた」

2年生：音読劇きつねのおきゃくさま

大ぎみの宝シークワサー

普及型1 空手クラブ

ウサギとカメと パフォーマンスクラブ

ウサギとカメと パフォーマンスクラブ

ウエルカムんちゅコレクション 英語クラブ

ウエルカムんちゅコレクション 英語クラブ

幕開け 三線クラブ

2月3日（日）、大宜味小学校できらめき発表会、大宜味中学校で日曜授業参観、くがに一発表会が行われました。
 「笑顔かがやかせ 150の絆 努力・全力・本気で 一致団結」をテーマに行われたきらめき発表会。1年生から3年生はクラスで表現や劇、合奏などを、4年生から6年生は各々が所属しているクラブでの活動を発表しました。初めてのきらめき発表会に臨んだ1年生はわらべうたを歌いながらお手玉やまりつきなど昔の遊びを元気よく披露。パフォーマンスクラブはオリジナルの昔話「ウサギとカメと」を面白おかしくセリフや体の動きで表現し会場を盛り上げました。
 午後からは中学生によるくがに一発表会。シークワサーについてや職場体験、進学に向けての調べ学習など総合の授業で取り組んだことを発表。今年はその他に音楽や体育、家庭科の学びを各学年で披露。家庭科の授業で作成した短パンを着こなしファッションショーに臨んだ3年生。楽しいしゃべりとパフォーマンスで会場は笑いに包まれました。

1年生

総合的な授業発表 2年生

3年生

大宜味中 平成31年度 くがに一発表会

くがに一発表会

器械体操 2年生

器械体操 2年生

リズム DE ボイパ 1年生

大宜味コレクション 3年生

大宜味コレクション 3年生

リコーダー演奏 吹奏楽部

本土・沖縄間の通信線の開設については、明治 25 年以来、沖縄県から要望されていた。そこで、軍用通信のかたわら公衆通信にも利用する目的で、鹿児島県大浜から奄美大島を経て、沖縄本島読谷村渡具知に至る約 800 キロメートルの海底電信線の敷設工事が行われ、1896（明治 29）年に完成した。海底線陸揚地の読谷村渡具知から那覇までは、電信柱に電線を掛け、電信 3 回線、打合せ電話線 1 回線が張られ、那覇から首里に延びていたと推定される。

それまで、電報の発信は、船便で鹿児島に運び、鹿児島から打電していた。受信は逆に鹿児島で受信したものを沖縄に船便を利用して配達された。県民 40 万人（当時）の不便さは想像を絶するもので、海底電信線の開通により文明の恩恵に浴することができたのである。

沖縄の電話（電話交換）のはじまりは、1910（明治 43）年である。その後、無線通信事業が運用され、1927（昭和 2）年無線電信是那覇無線局から鹿児島局を経て本土主要都市の東京、大阪、札幌、金沢、広島と運用されることになった。このように、沖縄と本土を結ぶ通信が急速に発展している頃、先に述べたように大宜味村の電信・電話の開設は、1930（昭和 5）年であり、当時は郵便局内に交換機が設置され業務が行われていた。

この頃の電話は「交換手による回線交換」いわゆる手動交換方式で、電話をかけるときにはまず電話局（郵便局）の交換手を呼び出し、つなげたい相手先を口頭で告げて、交換手が手動で相手先に接続する方式であった。

昭和 22 年に大宜味局が設置された当時は、電話機は各家庭にあったわけではなく、郵便局や村役場などにしかなかった。それからしばらくして、郵便局、役場、喜如嘉住区、大宜味住区、塩屋住区、津波住区の 6 回線が敷かれ、それぞれの住区では A B C D というように 1 回線の中でさらに 4 つに分けられていた。津波誌に次のようなことが記述されている。「電話は、昭和 22 年 9 月に大宜味郵便局が業務を開始した。しかし台数が制限されたもので津波売店、津波小中、大保、押川の 4 ヶ所で一局とし、各 A、B、C、D の番号を持ち、呼音 1 回は津波、2 回は小中、3 回は大保、4 回は押川と共同で、不便極まりないものであった。」この仕組みを共同電話と呼んでいた。

現在では、ほとんどの家に電話が入り、それどころか一人一台携帯電話やスマートフォンをもつ時代であり、便利な生活を送ることができるようになっている。

○年表でみる通信のあゆみ

1871（明治 4）年 1874（明治 7）年 1896（明治 29）年 1923（大正 12）年 1945（昭和 20）年 1946（昭和 21）年 1950（昭和 25）年 1968（昭和 43）年 1970（昭和 45）年 1970 年～	東京―大阪間で官営の郵便事業が開始 塩屋に「大宜味郵便局取扱所」が設置される。 鹿児島県―沖縄島（約 800 キロ）の海底電信線が敷かれ、沖縄にはじめて電信・電話が誕生する 大宜味に無集配郵便局が設置される 電信、電話が両局に架設 大宜味郵便局が字大宜味に設置される ガリオア資金により字大宜味集落西端に大宜味郵便局新設移転 現在の大宜味郵便局に再度移転 名護に日本電信電話会社の電信電話局が設置され自動交換が始まる 各家庭に「黒電話」が普及しはじめる
1975（昭和 50）年 1985（昭和 60）年 1987（昭和 62）年 1990 年代中頃 （平成 2 年代～）	国際ダイヤル通話が開始 「ショルダーホン（衛星通信電話）」が誕生 無線通信による「携帯電話」サービス開始（当初は機器及び使用料が高額で一般化するのはずっと後）
2000（平成 12）年	「コードレス電話（固定電話）」が普及 「PHS」「ポケットベル」が普及 携帯電話加入者数が固定電話を抜く インターネット回線を使った無料通話が可能となる「IP 電話」が誕生するが大宜味村ではインターネット環境が整備されておらず普及することはなかった 「スマートホン」が誕生。通話やインターネット、電子メールはもちろんのこと、ゲーム、カメラ、GPS、テレビ、音楽視聴、懐中電灯、方位磁石、簡易測量… 小さなコンピュータともいえる革新的な機器が誕生、爆発的に普及
2007 年以降 （平成 19 年～）	
2011（平成 23）年	日本の携帯電話契約数が日本の人口を抜く



大宜味村役所
OGIMI VILLAGE OFFICE

大宜味村字大兼久157
157, Oganeku, Ogimi

TEL 1



▲今ではほとんど見かけなくなったダイヤル式「黒電話」。停電時でも使用できた（村史編さん係所蔵）

一九六六年に発行された『沖縄写真年鑑』では大宜味村役場の電話番号は「1」番となっている



第 95 号 2019 年 3 月 1 日 大宜味村村史編纂係 4 4－8 0 0 9 E メール :sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp



大宜味村の『郵便・電信・電話』のあゆみ



切手を貼れば海の向こうまで郵便が届き、携帯電話は 1 人 1 台といわれるほど普及し、パソコンやインターネットがあればどこにいても仕事ができる――通信技術は今や私達の日常生活に密着し、なくてはならないコミュニケーションのツールとなっているが、実は村内の各家庭に固定電話が普及したのは、ほんの 3 0 年程前のこと。今回は大宜味村の通信の歴史について調べてみました！

○郵便

1871（明治 4）年に東京―大阪間で官営の郵便事業が開始されたのが郵便の始まりで、1874（明治 7）年には、塩屋に「大宜味郵便取扱所」が設置される。郵便取扱所とは、『個人の土地と建物の一部を無償で提供し、その代わりに彼らを「郵便取扱役」に任命して準官吏の身分を与え、「公務」である郵便業務を請け負わせる』といった国の施策によるもので、短期間で全国に広まった。しかし、郵便配達事業が始まって、当時は一般にはほとんど利用されないのが実情であった。

その後、明治 44 年に塩屋から大宜味に役場が移転したことで、郵便局と役場が 4 キロも離れ、公文書の発着が遅れる等の支障を来すと共に、県外、海外への出稼ぎが経済を支えていた時代でもあり、小包、書留、外国為替等の発着の困難は即、村民生活に影響した。また、村の中央に郵便局があることが村民にとって好都合であるとの見解から、1922（大正 11）年に電信架設と郵便局移転を熊本通信局長に陳情した。

しかし、郵便局移転について熊本通信局長の同意は得られず、方針を変更して新設請願を行なった結果、1923（大正 12）年に字大宜味に無集配郵便局が設置されるも、沖縄戦による混乱で両局は自然廃局となる。戦後は 1946（昭和 21）年に大宜味郵便局が業務を再開。1950（昭和 25）年には、ガリオア資金（占領地統治救済資金）をもって新しい大宜味郵便局が字大宜味西端に新設される。1968（昭和 43）年に現在の場所に移転し業務を行うが、2007 年の郵政民営化により、集配業務は国頭局に統合、大宜味局は無集配局に逆戻りしている。

○電信・電話

電信・電話が大宜味村の塩屋・大宜味両局に架設されたのは 1930（昭和 5）年であった。その当時の郵便局では郵便と並行して電信・電話の業務も行われていたのである。その後、電話の全国的な普及に伴い、電信・電話業務は日本電信電話公社（NTT の前身）に移管するが、郵便局にも電信業務が残る。

電信とは、音声ではなく符号（モールス通信）を使用して情報を伝達する方法を指す言葉で、現在でいう電子メールである。よく知られるのは「電報」で、通信技術が未発達な時代には唯一の緊急連絡手段であった。具体的には、遠方の相手に対して送るメッセージを、最寄郵便局で信号に変換して電気信号により相手方の郵便局に送り、その信号を受け取った相手方郵便局が、電気信号を文字として紙に出力し電報として相手に届けるというサービスである。字数によって料金が変わるため、出来るだけ簡潔に「チチキトク」や「サクラサク」などの定型文がよく使われた。現在でも冠婚葬祭などに祝電や弔電を送る慣わしが残っている。

大宜味局では、モールス通信を直接扱わず、村民から電話で受けたメッセージの文言を名護局へ通知することが業務であった。大宜味郵便局に長年務めていた平良松信（字大宜味 86 歳）氏は次のように話していた。

「送る字を間違っではいけないから、「朝日のあ」「イロハのい」といったように、1 文字ずつ確認していくのだが、他の業務や次の電話がかかってくることを懸念して、確認作業もスピードが求められた。確認中も右手を動かしながらの忙しい作業であった」。

また、電話交換は、毎日 2 名体制で宿直をしながら交換業務を行っていたが、1970（昭和 45）年に名護に日本電信電話公社の電信電話局が設置され自動交換方式に代わると、交換局としての役割を終え宿直することも無くなった。この頃から、次第に各家庭にも電話機が設置されるようになった。



上…戦前の塩屋郵便局（『塩屋誌』）下…一九六三年大田政作行政主席視察の時
に撮影された大宜味郵便局（公文書館蔵）





「しまふとうば」ぬくとう 38

“やましし（猪）”とう “ちゅう・つー（人）”



うみがーみー

ふたびや いーどうし 今年は亥年である。そのこととの関連性は解らないが、最近“やましし（猪）”が村内の集落内まで下りてきて、集落内にあるアツタイなどの農作物が被害にあって困っているという声の方々から聞こえる。ここ数年、山手側の農地は補助事業により“やましし”の防護柵が設置され、これまで“やましし”が食べてきた農作物が防護柵により保護されることになったことから、食物を求めて集落内に下りてきてアツタイなどの作物を食しているとも考えられる。“やましし”の肩を持つ訳ではないのだが、食物が少なくなれば食物のある方へと行動していくのは自然の中で生きる物としては当然のことであろう。考えてみれば自然界の動物の行動は人間の行動にかなり左右されてきているように思う。

50～60年前までは大宜味村の農地は殆どが段々畑と低地での水田で農業を営み生活を支えてきた。そしてそれらの農作物を猪から守るために約300年前の人々は“猪垣（やまししがき）”を構築して“やましし”との棲み分けをしてきたという、尊い感謝すべき歴史があり、昭和20年代までは村挙げて“やまししがき”の管理を徹底してきたという歴史もある。

農業の形態が自給から経営へと移行する時代（昭和30年代～）になると、これまでの段々畑から広大な農地を求めるようになり、“やまししがき”を超えた山地に機械を入れ、現在の津波山、江洲、大工又などの割と平坦な山頂部に広大な農地を形成している。その結果、効率の悪い段々畑は使われなくなり、“やまししがき”もまた管理されなくなって壊されたり、崩れたりして“やましし”が集落まで下りて来れるような状況になっているのである。

思えばこの間の、“やましし”と人の行動は良く似ていると思う。“やましし”がより多くの食物を求め集落まで下りてきてアツタイの作物を食するのと、人が生活の豊かさを求めて効率の良くない段々畑から、“やましし”の生活場であった山地への広大な農地を求めてきた行為は、“生きるため”ということでは同じことなのでは？と、同じ生き物としては。そして両方の行為が相手側に迷惑をかけているということも。



今月の生きもの

ウグイス：ウグイス科



ホーホケキョ♪ こんにちは♪ 私、春を告げる鳥ウグイスです。えっ、なんかイメージ違うって？なかなか正面から見ることもないし、そもそも鳴き声だけで姿を見たことある人も少ないから。思っていたウグイス色と違うって!? あれはメジロをウグイスと間違えてイメージされちゃってるからなの。梅にウグイスとか言うけど、実際に梅にいるのはメジロだから。なかなか人前に出ないから誤解されちゃうのかな…。

3月の行事予定

1日（金）区長会

6日（水）お別れ遠足（喜保）

7日（木）お別れ遠足（塩保）

9日（土）大宜味中学校卒業式

北部地区スポーツ推進委員協議会研修会及び総会

11日（月）大中振替休日

14日（木）大宜味小卒業式

15日（金）大宜味小・中学校修了式・離任式

16日（土）学び舎あじまあ

17日（日）家庭の日

19日（火）幼稚園修了式

21日（木）春分の日

26日（火）ほのぼのパーティー（喜保・塩保）

28日（木）定例教育委員会会議

3月12日



財布の日

新緑の季節がやってきました。植物も動物も新しい命の誕生に向けてざわめきだってくるこの季節。生きものたちにつられて私もウキウキしてきます。今年はあまり冬を感じられなかったけど、春の訪れはいつも嬉しいものです。